研究所通信
RINE NEWS Research Institute of Nuclear Engineering,University of Fukui VOL. 4
PICK UP NEWS
★平成27年度 防災・日本再生シンポジウム
国立大学法人 福井大学附属国際原子力工学研究所
〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町１丁目２街区４
TEL:0770-25-0021(代表) FAX:0770-25-0031 http://www.rine.u-fukui.ac.jp/
2016年1月発行

平成27年度 防災・日本再生シンポジウム「日本一の原子力立地 福井県における防災危機管理 Ⅳ」

昨年11月14日に、防災・日本再生シンポジウム「日本一の原子力立地 福井県における防災危機管理Ⅳ」を、敦賀市立看護大学で開催しました。東日本大震災の後から毎年続けて開催しているシンポジウムで、震災後の対応をなされた方々（関係機関、行政、医療関係者など）を全国からお招きし、ご講演いただいています。

今回は、神戸大学副学長の小田教授から「船舶を活用した災害対応活動支援～海の道からのアプローチ～」として、災害支援における船舶の活用について、次に震災後に福島県川内村で生活をしながら住民の方々と共に復興支援活動に携わられている経験から、長崎大学の折田助教から「長崎大川内村復興拠点における活動」についてお話しいただきました。福井大学医学部看護学科長の酒井教授には、「福井大学の災害看護」として、全国に先駆けて開設された災害看護専門看護師課程での教育とその活動についてお話しいただきました。また、敦賀市市民生活部危機管理対策課や敦賀美方消防組合の方々には、敦賀市の原子力防災に係る活動や取り組みについてご講演いただきました。

今後も市民の皆様の要望を伺いつつシンポジウムを企画いたします。

・長崎大学/折田助教

・神戸大学/小田教授

第２回原子力防災関連イベント「福島川内村での活動報告」

昨年11月9日、福井大学医学部看護学科と協働で行った「福島の今を知る活動」の報告会を開催しました。

報告会では、川内村での活動に関して学生が<放射線チーム(附属国際原子力工学研究所)>および<看護チーム(医学部看護学科)>に分かれ、川内村の居住区域の現在の線量は敦賀市と大差がないこと、地元の方々や村長、双葉消防の方々が当時どういった面で苦労されたか、それに対してどのように行動したかなどについて報告しました。復興に対する皆さんの思いをお聞きする中で学生が感じたこと、そして、今回のこの活動で学んだ事をこれからの活動にどう活かしていきたいか、などについて参加された方々と議論を行いました。

東日本大震災から５年を迎え、震災の記憶は人々の記憶から薄れつつありますが、被災地は未だ多くの問題を抱えています。今後も、私たちに出来る取り組みや支援を継続して行っていきたいと思います。

▲放射線量測定風景

▼長崎大学川内村復興拠点にて

PICK UP

学外活動＆講演活動

市内の小学校で避難訓練を見学させて頂きました

昨年度から、福井県は学校の原子力防災・訓練に積極的に取組んでいます。8月には、県が開催した福井県防災教室講習会にて、安田教授がまずどういう訓練をすべきかについて、学校の先生方にお話しをしました。

その後、徐々に県内の学校(幼保育園・小中学校・高校)で防災訓練の中に原子力災害の時にどうすればよいかについての話が取り入れられています。避難の様子も見学させていただき、先生と一緒に困難な点や改良すべき点を改善するようにしていきます。

行ってみよう！

お邪魔します★展示室

Ｎｏ.２　放射線防護服

坂井市に研究開発センターをおく、繊維総合メーカー・セーレン(株)さんが開発された身体汚染防護服を展示させていただいています。夏場の作業時においても身体への負担が少なく、快適な使い捨て防護(防塵)服です。これまでの製品と着比べていただくこともできます。

マスクや手袋、長靴、放射線測定器も実際に使用するものを揃えています。是非一度、見学にお越しください。

今月も★

海外からの研修生が敦賀に来ています！

毎号、研究所通信では海外からの研修生を紹介していますが、今月もパワーアップしてご紹介！

Mr. IPUTU SUSILA

イプトさん（インドネシア原子力庁）

★来日理由：
(財)若狭湾エネルギー研究センターのプログラム
★好きな日本の食べ物：
寿司、納豆、焼き鳥、抹茶（特に抹茶チョコレートは美味しい）
★日本の印象：伝統文化を守りながら発展している。日本人は努力家で、他人に迷惑をかけない。
★原子力を学ぼうと思った理由：
放射線や原子力についてもっと勉強をしたい。インドネシアで原子力発電所ができる際に役に立つと思う。
★メッセージ：
敦賀市に来る前や滞在期間中にサポートしていただいた先生方、事務の方々や他の関係者に感謝します。また、学生が色々なところに連れて行ってくれて、とてもいい思い出になります。

Ms. ABDULLAH Siti Fazlili Binti

リリさん（マレーシア・テナガナショナル大学）

★来日理由：(財)若狭湾エネルギー研究センターのプログラム。初歩的な実験から始め、最終的には有益な成果につながる科学的方法について理解を深めることができればと思った。あと、いい人脈を作る機会を得たいと思ったからです。
★好きな日本の食べ物：
えびの天ぷらうどん。日本食は最高においしい
★日本の印象：日本には、すばらしい技術、美しい山々、自然遺産があります。日本人の友達は、皆親切で、時間に几帳面で、礼儀正しく聡明です。日本語のキレイという言葉は、日本人にぴったりな言葉だと思います。
★原子力を学ぼうと思った理由：
私が感銘を受けた有名な言葉に、"現在及びこれからも原子力は環境に優しく、クリーンで、信頼性のある、安全な電力源である"という言葉があります。地熱エネルギーや原子力の資源サポートのおかげで、持続可能な世界に近づくことができると思います。
★メッセージ：
附属国際原子力工学研究所は、知識が豊富で経験豊かな先生方や研究者がたくさんいるので、勉強や研究に適した場所です。

Mr.KHAN Mohammad Jahirul Haque

カーンさん
（バングラデシュ原子力委員会）

★来日理由：(財)若狭湾エネルギー研究センターのプログラム。日本はこれまで訪問したことがなく、日本文化を勉強するためにも良い機会だと思いました。
★好きな日本の食べ物：
新鮮な魚や、果物、野菜。
★日本の印象：日本は、科学の技術が発展しているだけでなく、自然環境（山や森林）もすばらしいと思います。
★原子力を学ぼうと思った理由：
原子力は、世界中で環境に優しいエネルギー源だと思います。なぜなら気候変動に影響するような屋内ガスを作ることがないためです。若狭湾エネルギー研究センターの海外研究者受入制度を用いて研究所で得た経験は、私の所属機関であるバングラディシュ原子力委員会にとっても有益なものになると考えました。
★メッセージ：
日本を訪れる機会がある外国人のみなさんに、私は日本をお勧めします！ぜひ日本のすばらしい自然環境や文化に触れるチャンスを逃さないでください。

教えて♪日本での生活

休日は、外国人研修生や研究所の教職員、学生たちと色々な所へ出かけるなどして、日本での生活を満喫しています。

キラリ☆Face＋留学編

学生編

今月の "キラリ★Face" は学生の大久保くん。過去の留学体験についても語ってくれました。

「留学」って、どうだった？

工学研究科
博士前期課程2年 **大久保　学くん**

- **出身地**／福井市
- **学んでいる内容**
  原子炉構造材の照射脆化に関する研究
- **原子力エネルギー工学を専攻した理由**
  研究以外にも、実習・インターンシップや留学など、学内外で幅広く学べるから
- **これからこの分野を志望する学生へ一言**
  学外での活動に積極的にかかわり視野を広げて、活躍したいステージを見つけていこう！

＊留学したいと思った理由
海外の研究者がどのように研究に取り組んでいるのかを知り、海外で働くという経験をしたかったからです。

＊留学方法
友人が、若狭湾エネルギー研究センターの研修プログラムで留学していたので、自分もそのプログラムに応募しようと思いました。

＊留学が決まってから準備したこと
受け入れ先は指導教官に紹介していただき、約3ヶ月で宿泊先、ビザの手続きなど自分で手配しなければいけなかったので大変でしたが、留学先の先方と大学の先生方に協力していただき、無事留学することができました。

＊留学先
アメリカ・イリノイ州にあるアルゴンヌ国立研究所に２ヶ月滞在しました。留学期間中は、原子力工学部門の腐食グループに在籍し、Dr. Yirenの指導の下研究しました。

＊留学先での生活
食事は全て自炊し、キッチン等が共同の寮で生活していたので、友人も多くできました。休みの日は友人と街に出かけたり、サイクリングを楽しみました。

＊留学してみての感想
短期間の留学でしたが、専門分野は勿論のこと、社会問題や労働環境の違いなど、海外から日本を見る視点が持てたと思います。日常会話や研究の議論などを通して、国際性を鍛え、海外の研究者等とコネクションを作るいい機会になりました。

＊留学についてのアドバイス
留学先では、大学での研究を進められるように段取りをしておくことが重要なので、夏季インターンシップや実習に参加する場合は、無理な計画にならないよう、研究の段取りや留学期間について考えておくといいと思います。英語でのコミュニケーションを心配する人もいると思いますが、相手も分かるように合わせてくれるので心配せず、機会があれば是非チャレンジしてください！